

都立葛飾商業高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科	国語	科目	古典 A (総合選択 A、B)	学年	3	単位	2
教科書(出版社)	標準 古典 A (第一学習社)						
副教材等(出版社)	古語辞典 (任意)						

1. 学習の目標

- ・ 古代から近世までの文章を読むことを通じて、日本の伝統文化に対する理解を深める。
- ・ 説話や作り物語、歴史物語、軍記物語などの幅広い文章を読むことで、古文のリズムや文法に親しみ、原文を読み味わう力を身に付ける。
- ・ 訓読のきまりなどを理解した上で、史記を読み、中国の歴史や文学に対する理解を深める。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1	物語 (一) 諸家の思想	竹取物語 伊勢物語 孟子 老子 莊子	24
2	随筆 物語 (三)	徒然草 枕草子 源氏物語	30
3	日記 項羽と劉邦	紫式部日記 更級日記 四面楚歌	8

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
【関心・意欲・態度】 古典文化に親しみ、生涯にわたる教養を身に付け、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・授業 ・提出物	古語、古典文法の知識を深め、言葉を通して積極的に古典の世界に関わろうとしている。	古語、古典文法の知識を深め、言葉を通して古典の世界に関わろうとしている。	古語、古典文法の知識を深め、言葉を通して積極的に古典の世界に関わろうとする姿勢が薄い。
【思考・判断】 作品の内容や多様な解釈を踏まえ、他者との関わりの中で自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、古典について自分の考えをもつ。	・授業 ・定期考査 ・発表 ・提出物	作品の内容や多様な解釈を踏まえ、他者との関わりの中で自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、古典について自分の考えをもつ。	作品の内容や多様な解釈を踏まえ、他者との関わりの中で自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、古典について考えることができる。	作品の内容や多様な解釈を踏まえ、他者との関わりの中で自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、古典について考えを持つことができない。
【表現・技能】 作品について、また多様な解釈を踏まえた、自分のものの見方、感じ方、考え方について理解を深め、古典について自分の考えを書き、話す。	・授業 ・定期考査 ・発表 ・提出物	作品について、また多様な解釈を踏まえた、自分のものの見方、感じ方、考え方について理解を深め、古典について自分の考えを書き、話す。	作品について、また多様な解釈を踏まえた、自分のものの見方、感じ方、考え方について書き、話すことができる。	作品について、また多様な解釈を踏まえた、自分のものの見方、感じ方、考え方について書き、話すことができない。
【知識・理解】 古語辞典による調査などを通し、語彙力を伸ばし、古典の文化的背景について理解を深める。	・授業 ・定期考査 ・提出物	古語辞典による調査などを通し、語彙力を伸ばし、古典の文化的背景について理解を深める。	古語辞典による調査などを通し、語彙力を伸ばし、古典の文化的背景について理解できる。	古語辞典による調査などを通し、語彙力を伸ばし、古典の文化的背景について理解することができない。

※具体的な評価方法等

・以下の基準により総合的に判断する。

4 : 6 = (授業状況・出欠・提出物・授業に対する取り組み) : (ペーパーテスト) の割合で総合的に評価する。

都立葛飾商業高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科	地歴公民	科目	地域研究（総合選択A、B）	学年	3	単位	2
教科書(出版社)		なし					
副教材等(出版社)		「江戸から東京へ」(東京都教育委員会)					

1. 学習の目標

本校の所在地である東京都や葛飾区の特徴についての理解を深めるとともに、葛飾区から出発して、東京都、更には日本・世界についての理解を深めることで、高等学校最終学年の生徒として、卒業後の市民生活も視野に入れ、多様性と自尊心に満ちた人間性の完成を図る。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東京都の特色 ・ 東京都の魅力 ・ 葛飾区の特徴 	<ul style="list-style-type: none"> ① 東京都の歴史（講義・調査・グループ学習） ② 東京都の地誌（講義・調査・グループ学習） ③ 東京都の産業（講義・調査・グループ学習） ④ 東京名所案内かるた作成 ① 葛飾区の歴史（講義・調査・グループ学習） ② 葛飾区の地誌（講義・調査・グループ学習） ③ 葛飾区の産業（講義・調査・グループ学習） ④ 葛飾区の実地調査（校外学習） 	24
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東京都の中の葛飾区 ・ 世界と東京都・葛飾区 	<ul style="list-style-type: none"> ① 東京都と葛飾区の関係（講義・調査・グループ学習） ② 東京都の中での葛飾区の魅力（講義・調査・グループ学習） ③ 東京都の中での葛飾区役割（講義・調査・グループ学習） ① 世界の中での葛飾区（講義・調査・グループ学習） ② 世界の中での葛飾区の魅力（講義・調査・グループ学習） ③ 世界の中での葛飾区役割（講義・調査・グループ学習） 	30
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習成果発表会に向けて 	<ul style="list-style-type: none"> ① これまでの1年間の学習内容を基にして、学習成果発表会に向けて、学習成果の発表模造紙を作成する。 	8

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
<p>【関心・意欲・態度】</p> <p>意欲的に授業・学習活動に取り組み、更に高度な学習をする意欲があるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業 ・ 定期考査 ・ 提出物 	意欲的に学習に取り組み、更に、自己の関心に基づき、更なる学習をする態度が見られる。	意欲的に学習に取り組んでいる要素がある。	意欲的に学習に取り組む態度が見られない。
<p>【思考・判断】</p> <p>多様な学習・調査内容を合理的にまとめ考えることが出来るか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業 ・ 定期考査 ・ 提出物 	場合によってはリーダーシップを発揮し、多様な学習・調査内容を高度にまとめ考えることが出来る。	概ね多様な学習・調査内容を合理的にまとめ考えることが出来る。	多様な学習・調査内容を合理的にまとめ考えることが出来ない。
<p>【表現・技能】</p> <p>多様な学習・調査内容を合理的にまとめ、明確な言語で表現できるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業 ・ 定期考査 ・ 提出物 	場合によってはリーダーシップを発揮し、多様な学習・調査内容を高度にまとめ、明確な言語で表現できる	概ね多様な学習・調査内容を合理的にまとめ、明確な言語で表現できる。	多様な学習・調査内容を合理的にまとめ、明確な言語で表現することが出来ない。
<p>【知識・理解】</p> <p>学習内容について、その学習内容が十分に定着しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業 ・ 定期考査 ・ 提出物 	学習内容が十分に定着し、更に自己の関心に基づいた学習成果の定着も十分である。	学習内容が概ね定着している。	学習内容が十分に定着していない。

都立葛飾商業高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科	数学	科目	数学応用（総合選択A，B）	学年	3	単位	2
教科書(出版社)	なし						
副教材等(出版社)	なし						

1. 学習の目標

- ・基礎・基本の定着を図る
- ・数学に興味・関心をもたせ、楽しく、主体的に学習できるようにする

2. 学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1	式と証明 <ul style="list-style-type: none"> ・整式の乗法と因数分解 ・二項定理 ・整式の割り算 ・分数式の乗法・除法 ・分数式の加法・減法 複素数と方程式 <ul style="list-style-type: none"> ・複素数 ・2次方程式の解と判別式 <ul style="list-style-type: none"> ・解と係数の関係 ・剰余の定理と因数定理 <ul style="list-style-type: none"> ・高次方程式 	<ul style="list-style-type: none"> ・展開の公式を用いて、3乗に関わる式を展開することができる。 ・3次の因数分解の公式を理解し、それらを用いて因数分解することができる。 ・式の形の特徴に着目して式変形し、因数分解の公式が適用できるようにすることができる。 ・二項定理や分数式の四則計算方法を習熟する。 ・パスカルの三角形の性質を理解し、パスカルの三角形の作り方がわかる。 ・整式の割り算の結果を等式で表して考えることができる。 ・分数式を分数と同じように約分して扱うことができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・方程式が解をもつように数の範囲を拡張する。 ・方程式が常に解をもつように考えられた複素数に興味・関心を示し、考察しようとする。 ・2次方程式の解が虚数になる場合もあることに興味を示し、2次方程式の解を考察しようとする。 ・整式を1次式で割ったときの余りを求めるのに、剰余の定理が利用できることを理解している。 ・$P(k)=0$であるkの値の見つけ方を理解し、高次式を因数分解できる。 	24
2	指数関数と対数関数 <ul style="list-style-type: none"> ・指数関数 ・対数関数 微分法と積分法 <ul style="list-style-type: none"> ・微分法 ・不定積分 	<ul style="list-style-type: none"> ・指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解する。 ・指数関数とそのグラフの特徴について理解し、それらの事象の考察に活用する。 ・対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をする。 ・対数関数とそのグラフの特徴について理解し、それらの事象に活用する。 <ul style="list-style-type: none"> ・微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求める。また、微分の考えを事象の考察に活用する。 ・不定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分を求める。 	30
3	<ul style="list-style-type: none"> ・定積分 ・面積 	<ul style="list-style-type: none"> ・定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の定積分を求める。 ・定積分を用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める。 	8

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
【関心・意欲・態度】 いろいろな式、指数関数・対数関数および微分・積分における考え方や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらの事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。	授業態度 問題演習	8割以上の問題に自分の力で取り組んでいる。 活動に向けて発展的、自発的に取り組む態度がある。	5割以上の問題に自分の力で取り組んでいる。 活動に向けて自発的に取り組んでいる。	5割未満の問題にしか自分の力で取り組んでいない。 活動に向けて自発的に取り組んでいない。
【数学的な見方や考え方】 いろいろな式、指数関数・対数関数および微分・積分において事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身につけている。	練習問題プリント 振り返りプリント	練習問題等は8割以上解いている。 発展した考えを取り入れ、考察を深めながら振り返ることができる。	練習問題等は5割以上解いている。 考察をしながら振り返ることができている。	練習問題等は5割未満しか解いていない。 考察を深めることができていない。
【表現・技能】 いろいろな式、指数関数・対数関数および微分・積分において事象を数学的に考察し表現・処理する仕方や推論などの方法などの技能を身につけている。	小テスト	平均して8割以上正解している。	平均して5割以上正解している。	平均して5割未満しか正解していない。
【知識・理解】 いろいろな式、指数関数・対数関数および微分・積分における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身につけている。	定期考査 課題	与えられた課題に対して、8割以上に理解している。	与えられた課題に対して、5割以上の理解をしている。	課題を理解していない。課題に5割未満しか取り組んでいない。

※具体的な評価方法等

・以下の基準により総合的に判断する。

- ① 上記の観点と単元ごとのまとめテストを点数化し、総合的に判断する。

都立葛飾商業高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科	体育	科目	スポーツⅡ（総合選択A，B）	学年	3	単位	2
教科書(出版社)							
副教材等(出版社)							

1. 学習の目標

運動技能を高め運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1	選択体育 バレーボール・バスケットボール・サッカー テニス・バドミントン・ソフトボール・卓球 など 上記の種目の中から選択し実施する	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒たちによる授業計画を行う ・準備や片づけなど生徒中心に協力し合いながら行う ・ゲーム形式を中心に授業を展開する ・公式ルールに則り試合を実施し、各種目のルールを覚えていく ・授業の振り返りを行い生徒自ら評価や改善できるよう取り組む ・必要であれば実技テストを行う 	24
2	選択体育 バレーボール・バスケットボール・サッカー テニス・バドミントン・ソフトボール・卓球 など 上記の種目の中から選択し実施する	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒たちによる授業計画を行う ・準備や片づけなど生徒中心に協力し合いながら行う ・ゲーム形式を中心に授業を展開する ・公式ルールに則り試合を実施し、各種目のルールを覚えていく ・授業の振り返りを行い生徒自ら評価や改善できるよう取り組む ・必要であれば実技テストを実施する 	30
3	選択体育 バレーボール・バスケットボール・サッカー テニス・バドミントン・ソフトボール・卓球 など 上記の種目の中から選択し実施する	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒たちによる授業計画を行う ・準備や片づけなど生徒中心に協力し合いながら行う ・ゲーム形式を中心に授業を展開する ・公式ルールに則り試合を実施し、各種目のルールを覚えていく ・授業の振り返りを行い生徒自ら評価や改善できるよう取り組む ・必要であれば実技テストを実施する 	8

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
【関心・意欲・態度】 【知識及び技能】 ・運動の技能の高さ ・競技、ゲームや技能に対する知識	学習活動、ゲームに取り組む姿勢の観察	運動に対する高い機能を身につけており、競技・ゲームのルール等の知識を有していること。	運動に対する技能、競技・ゲームのルール等の知識を概ね有していること。	運動に対する技能、競技・ゲームのルール等の知識が不十分である。
【思考・判断】 ・練習方法を自ら考え、その内容を判断し、仲間に表現しながら学習できているか。	学習活動、ゲームに取り組む姿勢の観察	練習方法を自ら考え、その内容を判断し、仲間に表現しながら学習できている。	練習方法を自ら考え、その内容を判断し、仲間に表現しながら学習することが概ねできている。	練習方法を自ら考え、その内容を判断し、仲間に表現しながら学習できていない。
【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学習活動に取り組む、仲間と協力しながら、役割を果たし活動できているか。	ゲームに取り組む姿勢の観察	積極的に学習活動に取り組む、仲間と協力しながら、役割を果たし活動できている。	積極的に学習活動に取り組む、仲間と協力しながら、役割を果たし活動することが、概ねできている。	積極的に学習活動に取り組む、仲間と協力しながら、役割を果たし活動できていない。
【知識・理解】 ・それぞれの種目の特性を考慮して的確に行動することが出来る。	正しいルールを理解し、行動することが出来る。	仲間と協力しあいながら、ゲームや駆け引きを楽しんで取り組むことができている。	仲間と協力しあいながら、ゲームや駆け引きを楽しんで取り組むことがおおむねできている。	仲間と協力しあいながら、ゲームや駆け引きを楽しんで取り組むことがおおむねできていない。

都立葛飾商業高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科	外国語	科目	英語表現 I (総合選択 A、B)	学年	3	単位	2
教科書(出版社)		Revised BIG DIPPER English Expression I (数研出版)					
副教材等(出版社)							

1. 学習の目標

- ・アクティブに実用的な英語を練習し、身につける。
- ・「英語を学ぶ」のではなく、「英語で何かを学ぶ」ことを基本とする。
- ・一般的な社会人として必要な英語力やプレゼンテーション力を磨く。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1	PART 1 Lesson 1～7 英文の基本構造、肯定文・否定文・疑問文、現在形・現在進行形・過去形・過去進行形、未来の表現、現在完了形・過去完了形	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書に関する文法ワークは基本的に家庭学習とし、授業内でその答え合わせおよび評価をする。 ・ALT/JET と TT を行う。 ・教科書で学んだ文法事項を扱いながら、授業内ワークを行う。 ・自分の好きなものをプレゼンテーションする。その際、実物や絵、写真などを使い、伝えるように工夫しているかどうかを重要視する。 	24
2	PART 1 Lesson 8～21 助動詞、5つの文型、過去分詞、疑問詞、to 不定詞、動名詞、品詞の理解、比較級・最上級、関係代名詞、関係副詞、仮定法、句や節の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書に関する文法ワークは基本的に家庭学習とし、授業内でその答え合わせおよび評価をする。 ・ALT/JET と TT を行う。 ・教科書で学んだ文法事項を扱いながら、授業内ワークを行う。 ・ある商品の宣伝 / 広告を考え、ポスター等の形にする。デザインする力を英語で学ぶ。その内容を発表する。 	30
3	PART 2 Lesson 1～15 1・2学期で学んだ文法事項の使用場面や機能を強く意識した学習 例：依頼をする、助言をする、予定を述べる、結果を述べる、賛成・反対を述べる等	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書に関する文法ワークは基本的に家庭学習とし、授業内でその答え合わせおよび評価をする。 ・ALT/JET と TT を行う。 ・教科書で学んだ文法事項を扱いながら、授業内ワークを行う。 ・1年間を通してどのようなことを学び、どのような作品を完成させたのか、パワーポイント等を用いてまとめてプレゼンテーションする。 	8

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
【関心・意欲・態度】 積極的にコミュニケーション活動に参加しようとしている。意欲的に英語を練習し、身に付けようとする態度がみられる。	提出物 発表活動 授業態度	積極的にコミュニケーション活動に参加し、意欲的に英語を練習したり身に付けようとする態度がみられる。	コミュニケーション活動に参加し、英語を練習したり身に付けようとする態度がみられる。	コミュニケーション活動に参加し、英語を見つかけようとする意欲がない。
【思考・判断】 英語を読んだり聞いたりして、情報や考えなどの概要をとらえ、自分の考えを平易な英語を用いて伝える。	提出物 発表活動 授業態度	英語を読んだり聞いたりして、情報や考えなどの概要をとらえ、自分の考えを平易な英語を用いて正確に伝えられる。	英語を読んだり聞いたりして、情報や考えなどの概要をとらえ、自分の考えを平易な英語を用いて概ね正確に伝えられる。	英語を読んだり聞いたりして、情報や考えなどの概要をとらえていない。また自分の考えを平易な英語を用いて伝えることができない。
【表現・技能】 語順や文法等を意識したアウトプットができている。また、活動を通して英語を用いた表現力や技能を高める態度が見られる。	提出物 発表活動 授業態度	語順や文法等を意識したアウトプットができている。また、活動を通して、英語を用いた表現力や技能を高める態度が見られる。	語順や文法等を意識したアウトプットが概ねできている。また、活動を通して、英語を用いた表現力や技能を高める態度が概ね見られる。	語順や文法等を意識したアウトプットができていない。また、活動を通して、英語を用いた表現力や技能を高める態度が見られない。
【知識・理解】 英語による情報や考えを聞いたり読んだりして、その内容を理解している。主題をとらえ、背景にある知識や問題点についても理解している。	提出物 発表活動 授業態度	英語による情報や考えを聞いたり読んだりして、その内容を十分に理解している。主題をとらえ、背景にある知識や問題点についても十分に理解している。	英語による情報や考えを聞いたり読んだりして、その内容を概ね理解している。主題をとらえ、背景にある知識や問題点についても概ね理解している。	英語による情報や考えを聞いたり読んだりして、その内容を理解していない。主題をとらえ、背景にある知識や問題点についての理解ができていない。

※具体的な評価方法等

- ① 授業状況・提出物・発表課題・ペーパーテストの結果に基づき評価する。
- ② 検定試験の結果は加点項目とする(減点要素とはしない)。

都立葛飾商業高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科	家庭	科目	子ども文化（総合選択A，B）	学年	3	単位	2
教科書(出版社)		子ども文化(教育図書)					
副教材等(出版社)		なし					

1. 学習の目標

子どもを理解し、子どもと遊び、表現活動、児童文化財などに関する知識と技術を習得する。
子ども文化の充実を図る能力と態度を身につける。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1	第1章 子ども文化とは	・子ども文化の誕生 ・子ども文化の歴史	4
	第2章 子どもと遊び	・遊びと発達 ・遊びの現状 ・遊びと玩具・遊具	16
	保育園実習	・全国高等学校家庭科保育技術検定4級挑戦 ・実習準備 ・保育園実習（夏休み中に高校生が保育園を訪問・実習）	8 2
2	第2章 子どもと遊び	・伝承遊び	2
	第3章 子どもと表現活動	・造る・描く ・話す・演じる ・歌う・踊る・演奏する	16
	第4章 子どもと文学	・探究：紙芝居の演じ方	4
	保育園実習	・探究：「ようこそ〇〇保育園」（高校を園児が訪問）	10
3	学習のまとめ	・全国高等学校家庭科技術検定3級挑戦 ・学習のまとめ	6 2

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
【関心・意欲・態度】 授業や実習への参加態度や提出物の状況から、主体的に学習に取り組もうとしているか。	授業態度 提出物	プリントの記載を工夫を重ねてできている。	プリントの記載を正しくできている。	プリントの記載や考察などができてない。
【思考・判断・表現】 各項目における課題を、その解決に向けてまとめたり、発表したりしているか	定期考査 小テスト 授業態度 提出物	考察や自分の考えをまとめ、表現できる。発表活動で発展的な課題を生成することができる。	発表活動に自発的に取り組むことができる。	発表活動における調べ学習・考察を行わない。
【技能】 実習や発表などにおいて、正確に、丁寧に創造的に取り組んでいるか。	小テスト 授業態度 提出物	時間を十分に生かし、工夫を凝らして取り組んでいる。完成した作品は創造性に富んでいる。	与えられた課題に適した作品を仕上げている。	完成を目指すのが、時折手が止まることがある。作品が完成していない又は完成度が著しく低い。
【知識・理解】 定期考査・実習作品、プリントを通して、必要な知識について理解しているか。	定期考査 提出物	与えられた課題・実習に対して、十分に理解している。	与えられた課題・実習に対して、半分程度の理解をしている。	課題・実習を理解していない。課題・実習に取り組んでいない。

※具体的な評価方法等

・平常点（授業態度・出欠・提出物）：考査＝4：6

都立葛飾商業高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科	家庭	科目	服飾手芸（総合選択A，B）	学年	3	単位	2
教科書(出版社)							
副教材等(出版社)							

1. 学習の目標

被服や手芸品の製作を通して、より深い知識と技術を習得させるとともに、創造性豊かな衣生活を営む能力と実践的態度を育てる。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1	手芸の種類	手芸の種類を知る それぞれの特徴及び変遷を知る	4
	デザイン基礎	デザイン手法の基礎を知る	4
	刺繍基礎 クロスステッチ基礎	基礎的な技法を知る 基礎的なデザインができる	16
2	刺繍基礎 クロスステッチ作品製作	基本的なデザインを理解する 作品を仕上げる	30
	染色基礎	基礎的な技法を知る 作品を仕上げる	6
3	編物基礎	編み図・目数表の読み取り方 棒針編み 基礎 かぎ針編み基礎	10

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
【関心・意欲・態度】 授業や実習への参加態度や感想から、主体的かつ協働的に学習に取り組もうとしているか。	授業態度	内容を理解し、さらに自主的な学習・工夫した実践が認められる	内容を理解し、発言・記述・作品提出をしている	内容を理解しておらず、発言・記述・提出していない
【思考・判断】 各項目における美的価値および製作工程に関する課題を発見し、その解決に向けてまとめたり、発表したりしているか。	授業態度 作品	内容を理解し、さらに自主的な学習・工夫した実践が認められる	内容を理解し、発言・記述・作品提出をしている	内容を理解しておらず、発言・記述・提出していない
【技能】 実習などにおいて、正確に、丁寧に創造的に取り組んでいるか。	授業態度 作品	実習を、手順通り適切に行うことができる。	実習を、おおむね適切に行うことができるが、誤った手順をすることがある。	誤った手順をすることが多い。 実習を他人に委ねるなど参加していない。
【知識・理解】 実習作品や提出物を通して、各種手芸の種類と特徴、技法などについて必要な知識を理解しているか。	授業態度 作品	内容を理解し、さらに自主的な学習・工夫した実践が認められる	内容を理解し、発言・記述・作品提出をしている	内容を理解しておらず、発言・記述・提出していない

都立葛飾商業高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科	商業	科目	財務会計Ⅰ（総合選択A, B）	学年	3	単位	4
教科書(出版社)	新財務会計Ⅰ（実教出版）						
副教材等(出版社)	反復式学習と検定 会計（実教出版） 全商簿記模擬問題集 1級会計（実教出版）						

1. 学習の目標

ビジネスに関する基礎的な知識と技術を習得させ、経済社会の一員としての望ましい心構えを身につけさせるとともに、ビジネスの諸活動に適切に対応する能力と態度を育てる。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1	(1) 財務会計の基礎 ① 企業会計の意義と役割 ② 財務会計の機能 ③ 会計法規と会計基準 (2) 貸借対照表 ① 資産 ② 負債 ③ 純資産 ④ 貸借対照表の作成 (3) 損益計算書 ① 損益計算の意味と損益の区別 ② 収益・費用の認識と測定 ③ 損益計算書の作成	以下の内容について、問題演習を中心に授業を展開していく。 ○ 企業諸原則・諸規則の内容を理解する ○ 1・2学年の既習事項を基礎として、専門的理解を深める。	48
2	(4) 連結財務諸表 ① 連結財務諸表の目的と連結の範囲 ② 連結財務諸表作成の基礎	以下の内容について、問題演習を中心に授業を展開していく。 ○ 連結貸借対照表、連結損益計算書、連結包括利益計算書および連結株主資本等変動計算書のひな形を外観した後、連結精算表から連結財務諸表を作成するための知識・技術を習得させ、その内容について理解させる。	60
3	(5) 財務諸表活用の基礎 ① 財務諸表分析の意義 ② 財務諸表の見方	以下の内容について、問題演習を中心に授業を展開していく。 ○ 財務諸表分析の方法と内容についての知識・技術を習得させるとともにその内容について理解させる。 財務諸表分析に技法及び既習事項を踏まえ、発表されている企業の財務諸表分析を行い、各企業の経営概況について考察させるとともに、そのレポートを発表させる。	16

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
【関心・意欲・態度】 教科書等の準備や問題演習に取り組む態度など	・学習後の演習(宿題等)を消化しているか。 ・会計数値の利用について、積極的に取り組んでいるか。 (20%)	・学習後の演習について、積極的に取り組んでいる(100%消化)。 ・会計数値や企業動向について、興味をもって調査・研究している。	・学習後の演習について、最低限部分に取り組んでいる(70%消化)。 ・会計数値や企業動向について、興味をもっている。	・学習後の演習について、取り組みがみられない(30%未満)。 ・会計数値や企業動向について、興味をもとしない。
【思考・判断】 暗記ではなく、理解をともなった会計処理を円滑に進められるか	・基本的な取引について、概念を理解しているか(下書きをきちんと作成できるか) (30%)	基本的な取引について、その概念を理解しており、かつ、適切な勘定科目・金額で表現することができる。	基本的な取引について、その概念を理解している。	正解したとしても暗記によるものであり、取引の概念を理解していない。
【表現・技能】 財務諸表等が適切に作成されるか	・資産・負債・純資産、及び収益・費用の意味を理解している。 (30%)	各表示区分の意味を理解しており、各勘定科目をあてはめることができる。	各表示区分の意味を理解している。	各表示区分の意味を理解していない。
【知識・理解】 定期考査、検定試験向け演習	・基本的な知識を習得しているか。 (20%)	発展的な内容について習得している(検定合格点70点に対して、概ね80点以上)	必要最低限の知識について習得している(検定合格点70点に対して、概ね50点以上)	必要最低限の知識について習得していない。(検定合格点70点に対して、概ね50点未満)

※具体的な評価方法等

- ・ 科目の知識的到達目標を、全商簿記実務検定1級会計の合格におく。
- ・ すでに上記目標を達成している生徒については、更に高い目標を各自設定させ、その到達に向けたPDCAサイクルの達成具合をもって評価する。

都立葛飾商業高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科	商業	科目	電子商取引（総合選択A）	学年	3	単位	2
教科書(出版社)	電子商取引（実教出版）						
副教材等(出版社)	なし						

1. 学習の目標

- ・情報通信ネットワークを活用した情報発信の意義を理解させるとともに、それを行うための知識と技術を習得させる。
- ・利用者の立場に立ったウェブページを構築するために、コンピュータを効果的に活用する能力と態度を育てる。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1	(1) 情報通信技術の進歩とビジネス (2) ウェブデザインと広告・広報	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスの形態 ・ビジネスの広告・広報活動 ・Web ページ制作の基礎 ・Web ページ制作の応用 	24
2	(1) コンテンツの作成 (2) Web ページの作成	<ul style="list-style-type: none"> ・ファイルの形式 ・図形と画像 ・音声 ・情報の統合 ・ウェブページ制作の手順 ・ウェブデザイン設計 ・ウェブページの作成 	30
3	(1) Web ページの公開	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク機器の種類と機能 ・公開に用いられるネットワーク技術 ・公開に用いられるネットワーク機器と通信回線 ・公開の仕組み 	8

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
【関心・意欲・態度】 ・意欲を持って、ウェブページ作成に必要な知識や技能を積極的に学ぼうとしている。	・授業及び課題に取り組む態度。 ・課題の提出状況	ウェブページの制作活動に大変興味・関心があり、自ら課題を見つけ、積極的に取り組もうとする意欲、課題解決に向けて取り組む姿勢がある。	ウェブページの制作活動に興味・関心があり、与えられた課題に取り組もうとする意欲と、課題解決に向けて取り組む姿勢がある。	ウェブページの制作活動に興味・関心がなく、与えられた課題に取り組もうとする意欲がない。
【思考・判断】 ・ウェブページを作成するために、目的に応じた機器やソフトウェアを活用し、閲覧者の立場に立ったデザインに加工する工夫を行うとともに、分かりやすい情報発信ができる。 ・知的財産権を意識したウェブデザイン設計を行うことができる。	・提出されたサイトデザインの研究資料。 ・提出されたデザインカンパおよびWebページ	ウェブページ閲覧者の傾向や状態を収集・分析が十分できている。それらを踏まえ、周囲の意見や考えを取り入れながら、自ら問題を解決することが十分できている。 知的財産権を踏まえながらわかりやすい情報発信が十分できている。	ウェブページ閲覧者の傾向や状態を収集・分析が概ねできている。それらを踏まえ、周囲の意見や考えを取り入れながら、自ら問題を解決することが概ねできている。 知的財産権を踏まえながらわかりやすい情報発信が概ねできている。	ウェブページ閲覧者の傾向や状態を収集・分析が十分できている。それらを踏まえ、周囲の意見や考えを取り入れながら、自ら問題を解決する能力が不足している。 知的財産権を踏まえながらわかりやすい情報発信ができていない。
【表現・技能】 ・図形や静止画などのコンテンツを利用した情報発信に必要な機器やソフトウェアの利用および、ウェブページの作成技法を身につけるとともに、これらを活用してウェブページを作成できる。	・提出されたデザインカンパおよびWebページ	図形や静止画などのコンテンツを利用した情報発信に必要な機器やソフトウェアの利用が十分できている。 ウェブページの作成技法を身につけるとともに、これらを活用してウェブページの作成が十分できている。	図形や静止画などのコンテンツを利用した情報発信に必要な機器やソフトウェアの利用が概ねできている。 ウェブページの作成技法を身につけるとともに、これらを活用してウェブページの作成が概ねできている。	図形や静止画などのコンテンツを利用した情報発信に必要な機器やソフトウェアの利用ができていない。 ウェブページの作成技法を身につけるとともに、これらを活用してウェブページの作成ができていない。
【知識・理解】 ・ウェブページを用いて情報を効果的に伝えるための基礎知識や企画・立案、制作の手法を身につけている。	・提出されたデザインカンパおよびWebページ	ウェブページを用いて情報を効果的に伝えるための基礎知識や企画・立案、制作の手法を十分身につけている。	ウェブページを用いて情報を効果的に伝えるための基礎知識や企画・立案、制作の手法を概ね身につけている。	ウェブページを用いて情報を効果的に伝えるための基礎知識や企画・立案、制作の手法を身につけることができていない。

※具体的な評価方法等

- ・出席・提出物・授業への取組等を総合的に判断する。

都立葛飾商業高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科	商業	科目	ビジネスマナー（総合選択A）	学年	3	単位	2
教科書(出版社)	高校生からのビジネスマナー（実教出版）						
副教材等(出版社)	秘書検定3級パーフェクトマスター（実務技能検定協会 編）						

1. 学習の目標

ビジネスに関する基礎的な知識と技術を習得させ、社会人としての望ましい心構えを身につけさせるとともに、ビジネスの諸活動に適切に対応する能力と態度を育てる。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1	第1章 ビジネスマナーの基本 第2章 コミュニケーションの重要性 第3章 ビジネスと経営組織 第4章 面接のマナー 秘書検定3級対策問題	<ul style="list-style-type: none"> ・礼法指導 ・身だしなみ ・挨拶 ・敬語の使い方 ・電話対応 ・企業の経営組織 ・企業理念 ・秘書検定3級過去問題演習 	24
2	第1章 秘書的な仕事を行う心構え 第2章 社会・一般常識 第3章 マナー接遇 第4章 技能 秘書検定2・3級対策問題	<ul style="list-style-type: none"> ・上司の補佐役 ・指示と報告 ・秘書に求められる能力 ・人柄・身だしなみ ・効率的な仕事の進め方 ・人間関係と話し方 ・報告の仕方 ・指示・注意・忠告の受け方 ・吊辞のマナー ・秘書検定2・3級過去問題演習 	30
3	第5章 秘書検定3級受験直前問題練習 秘書検定2級対策問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ファイリングと資料管理 ・日程管理・オフィス管理 ・問題練習、解答・解説 ・秘書検定2・3級過去問題演習 	8

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
【関心・意欲・態度】 ビジネスマナーに関心を持ち、ビジネスの場における態度について学び、円滑なコミュニケーション力を身につけようとする。	教材等の授業準備、 課題の提出状況、 定期考査	ビジネスマナーについて理解を深め、ビジネスの場での社会人としてのふるまいについてシュミレーションすることができる。	ビジネスマナーの基本を学び、社会人としてのふるまいについて理解している。	ビジネスマナーについて理解することができない。
【思考・判断】 ビジネスの場面においてさまざまな問題を見出し、論理的に考え、社会常識に基づいて判断することができる	教材等の授業準備、 課題の提出状況、 定期考査	互いを尊重し、職場でのコミュニケーションやビジネスマナーについて考え適切に判断することができる	職場でのビジネスマナーについて考え、ある程度判断することができる	ビジネスマナーについて考えることや判断することができない
【表現・技能】 オフィス実務に関する知識を活用し、ビジネスにおけるコミュニケーションの意義を理解し表現することができる。	教材等の授業準備、 課題の提出状況、 定期考査	基本的なオフィス実務に関する知識やコミュニケーションの重要性を身に付け表現することができる。	オフィス実務に関する知識を理解してある程度ふるまうことができる。	オフィス実務に関する知識や適切なコミュニケーションのスキルが身につけていない。
【知識・理解】 ビジネスに関する用語の意味やビジネスマナーの必要性について理解している。	課題の提出状況、 定期考査	ビジネスに関する用語やビジネスマナーを理解し、適切にふるまうことができる。	ビジネスに関する用語やビジネスマナーをある程度理解している。	ビジネスに関する用語やビジネスマナーがあやふやで必要性について理解することができていない

※具体的な評価方法等

- ・授業に対する意欲、姿勢、課題の提出状況、考査点などを総合的に判断して評価する。

都立葛飾商業高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科	商業	科目	ビジネスデザインⅡ (総合選択A)	学年	3	単位	2
教科書(出版社)							
副教材等(出版社)		Illustrator & Photoshop 操作とデザインの教科書(技術評論社)					

1. 学習の目標

競争が激化する市場において求められる「価値創造」を具現化し、ビジネスの幅広い領域で、イノベーティブなソリューションを生み出すクリエイティブカと、それを実行できる能力と態度を育てる。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1	デザインコンペへ出展する作品の考案および課題制作 クライアントの意向に沿った課題制作	Illustrator/ Photoshop の応用を用いて、課題を制作する。 【外部応募の課題制作】 ・Tシャツデザインの考案・作品制作 ・エコバックデザインの考案・作品制作 ・2024年の年賀状デザインの考案・作品制作 【地域連携課題制作】 ・地域イベントの案内広告デザイン考案・作品制作 ・学校案内ポスター・パンフの考案・作品制作 ・ロゴデザイン考案・作品制作 ・選挙案内ポスターの考案・作品制作	24
2	デザインコンペへ出展する作品の考案および課題制作 クライアントの意向に沿った課題制作	Illustrator/ Photoshop の応用を用いて、課題を制作する。 【外部応募の課題制作】 ・未来の自動車関連のデザイン考案・作品制作 ・新聞広告系デザイン考案・作品制作 ・ファッション系デザインの考案・作品制作 ・企業ロゴ・キャラクターデザインの考案・作品制作 ・その他 【地域連携課題制作】 ・商品パッケージデザインの考案・作品制作 ・その他	30
3	デザインコンペへ出展する作品の考案および課題制作 クライアントの意向に沿った課題制作	Illustrator/ Photoshop の応用を用いて、課題を制作する。 【外部応募の課題制作】 ・ステーションナリーグッズのデザイン考案・作品制作 ・オリジナル絵本の考案・作品制作 ・その他	8

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
【関心・意欲・態度】 デザインに関する分野に関心があり、積極的に課題に取り組もうとしている	授業での様子 活動報告書や コンセプトシートの記入	デザイン制作活動に大変興味・関心があり、自ら課題を見つけ、積極的に取り組もうとする意欲、課題解決に向けて取り組む姿勢がある。	デザイン制作活動に興味・関心があり、与えられた課題に取り組もうとする意欲と、課題解決に向けて取り組む姿勢がある。	デザイン制作活動に興味・関心がなく、与えられた課題に取り組もうとする意欲がない。
【思考・判断】 クライアントの要望にどのように応えていけばよいのかを考えて、作品制作を行うことができる	授業での様子 活動報告書や コンセプトシートの記入	自らクライアントの要望を収集・分析し、それらを踏まえ、周囲の意見や考えを取り入れながら、自ら問題を解決し、積極的に課題に取り組んでいる。	与えられたクライアントの要望を収集・分析し、それらを踏まえ、周囲の意見や考えを取り入れながら、積極的に課題に取り組んでいる。	与えられたクライアントの要望を収集・分析し、それらを踏まえて課題に取り組んでいない。
【表現・技能】 Illustrator や Photoshop を活用して、作品を制作することができる	授業での様子 作品データや 作品プレゼン	高度なデザイン制作における企画、構成、発想、色彩感覚があり、デザインソフトを積極的に活用し、クライアントの要望に応えた作品を制作できる。	基本的なデザイン制作における企画、構成、発想、色彩感覚があり、デザインソフトを活用し、ある程度、クライアントの要望に応えた作品制作を行うことができる。	基本的なデザイン制作における企画、構成、発想、色彩感覚のうち、いずれかを満たしているが、デザインソフトを活用し、作品制作を行うことができない。
【知識・理解】 作品コンセプトの考案や作品制作に必要な知識を習得している	授業での様子 活動報告書や コンセプトシートの記入	アイデア発想、色彩、グラフィックデザインに必要な基本知識があり、クライアントの要望をきちんと理解している。	アイデア発想、色彩、グラフィックデザインに必要な基本知識があり、クライアントの要望をある程度理解している。	アイデア発想、色彩、グラフィックデザインに必要な基本知識のいずれかがあがあるが、クライアントの要望を多少理解していない。

※具体的な評価方法等

以下の基準により総合的に判断する。

- ① 4 : 6 = (授業状況・出欠・提出物・作品以外の提出物) : (作品・アクティブラーニング) の割合で評価する
- ② デザインコンセプトを設定し、作品を制作しているか
- ③ 指定された条件を守り、作品を提出しているか
- ④ Illustrator / Photoshop の操作が身に付いているか

都立葛飾商業高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科	商業	科目	コンピュータ活用（総合選択A）	学年	3	単位	2
教科書(出版社)							
副教材等(出版社)		情報処理技能検定試験（表計算）模擬問題集1・準1級編（日本情報処理検定協会） 全商情報処理検定模擬試験問題集1級（実教出版） 30時間でマスターAccess2013（実教出版）					

1. 学習の目標

各種ソフトウェアの活用に関する知識と技術を習得させ、ビジネスの諸活動において、コンピュータを適切に活用する能力と態度を育てる。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1	表計算ソフトウェアの活用 日本情報処理検定協会 情報処理技能検定試験（表計算） 1級・準1級	日本情報処理検定準1級から1級までの実技課題に取り組み 表計算の活用への基礎リテラシーを習得する 練習問題による基礎の習得 演習問題による応用力の習得と検定受験対策	24
2	データベースソフトウェアの活用	リレーショナルデータベースの操作を習得する。 テーブルの設計と作成 クエリの作成、操作 Excel データのインポートや Excel データへのエクスポートを利用する。	30
3	表計算ソフトウェアと文書作成ソフトウェアとの連携 文書作成ソフトウェアの活用 表計算ソフトウェアのマクロ機能の活用	表計算ソフトウェアで作成したデータを、文書作成に活用する技術を習得する。 表計算ソフトウェアのシート間でのデータ連携について学習する。 文書作成ソフトウェアを活用し、文書デザインのリテラシーについて学習する。 Excel VBA を利用して、フォーム設計とシートとフォーム上のオブジェクトの連携によるデータの流れについて学習する。	8

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
【関心・意欲・態度】 学習した内容を理解し、コンピュータを適切に活用しようとしている。	課題に対する提出物やペーパーでのテスト、授業への取り組み姿勢	学習内容を解決するために、ソフトウェアの活用に関して具体的な方策を考え、適切に活用することができる。	学習内容の解決に向けたプロセスに応じて、ソフトウェアの活用に関する大まかな方策を立てることができるが、適切に活用するには課題がある。	学習内容の解決に向けた方策を教員や友人からの支援があれば考えることができる。
【思考・判断】 実行結果を導くために、どのように処理をすればよいのかを考えることができる。	課題に対する提出物やペーパーでのテスト、授業への取り組み姿勢	課題を解決するために、ソフトウェアの操作に関して具体的な方策を考え、適切に処理手順を提示することができる。	課題の解決に向けたプロセスに応じて、表計算ソフトウェアの操作に関する大まかな方策を立てることができるが、適切に処理手順を提示するには課題がある。	課題の解決に向けた方策を教員や友人からの支援があれば考えることができる。
【表現・技能】 ソフトウェアを活用し、処理条件にしたがって、効率的に正確な処理を実行することができる。	課題に対する提出物やペーパーでのテスト、授業への取り組み姿勢	課題を解決するために、表計算ソフトウェアの操作に関して具体的な方策を考え、適切に処理することができる。	課題の解決に向けたプロセスに応じて、ソフトウェアの操作に関する大まかな方策を立てることができるが、適切に処理するには課題がある。	課題の解決に向けた方策を教員や友人からの支援があれば考えることができる。
【知識・理解】 ソフトウェアを活用した情報技術についての知識を理解できる。	課題に対する提出物やペーパーでのテスト、授業への取り組み姿勢	課題を解決するために、ソフトウェアの情報技術に関して具体的な方策を考え、適切に処理することができる。	課題の解決に向けたプロセスに応じて、ソフトウェアの情報技術に関する大まかな方策を立てることができるが、適切に処理するには課題がある。	課題の解決に向けた方策を教員や友人からの支援があれば考えることができる。

※具体的な評価方法等

以下の基準により総合的に判断する。

- ① 4 : 6 = (授業状況・出欠・提出物・アクティブラーニング) : (ペーパーテスト) の割合で評価する
- ② 検定試験の結果は加点項目とする(減点要素とはしない)

都立葛飾商業高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科	商業	科目	ビジネス経済応用 (総合選択B)	学年	3	単位	2
教科書(出版社)		ビジネス経済応用(実教出版)					
副教材等(出版社)							

1. 学習の目標

ビジネス経済は、家計、企業、政府の経済活動のかかわりあいや、市場のあり方について学ぶ、また、市場を構成する消費者や企業に注目して、それらの動きや市場の仕組みについて学ぶと同時に、国の豊かさや政府の役割に注目して、経済社会全体の動きについて学ぶ。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1	第1章 サービス経済化とサービス産業 第2章 経済の国際化	<ul style="list-style-type: none"> ・産業構造の変化と労働について ・サービス産業の現状について ・企業の国際化・グローバル化について ・国際化の進展と国際収支について ・貿易の利益と課題について ・国際資本移動 ・外国為替 	24
2	第3章 金融市場と資本市場 第4章 企業経営	<ul style="list-style-type: none"> ・金融取引の発達について ・貯蓄と投資の動向について ・金融資本と資本市場の課題について ・企業経営の特色について ・企業経営と外部環境について ・企業の社会的責任について ・企業の海外進出と経営 	30
3	第5章 ビジネスの創造と地域産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・起業の手続きについて ・新たなビジネスの展開について ・地域ビジネス事情 	8

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
<p>【関心・意欲・態度】</p> <p>・経済や企業経営について関心をもっているか。</p> <p>・経済社会の動向について理解することを目指して、主体的に取り組もうとしているか。</p> <p>・サービス経済社会に適切に対応する実践的な態度を身に付けているか。</p>	<p>・授業準備が出来るか。</p> <p>・授業の開始・終了の挨拶が出来ているか</p> <p>・授業に集中しているか</p>	<p>・授業に意欲的に参加している。相槌を打ちながら聴いている</p> <p>・ノート作成が板書を写すだけではなく自ら工夫をしている。</p> <p>・経済の動向に関する興味・関心が強い。</p>	<p>・時々、集中力が途切れることがある。</p> <p>・ノートは板書通りに記載している。</p> <p>・説明をすると興味・関心を示すが自ら進んでは行わない。</p>	<p>・授業に集中していないことが度々ある。</p> <p>・意欲を示している姿勢が見受けられない。</p> <p>・ノート作成は時々する。作成しても雑である。</p>
<p>【思考・判断】</p> <p>・経済社会の動向について理解することを目指して、思考を深めているか</p> <p>・経済や企業経営に関する基礎的・基本的な知識と技術をもとに、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、外部に表現する創造的な能力を身に付けているか。</p>	<p>・発問等に対して明確な答えを出しているか。</p> <p>・経済のしくみを理解し、自分の考えを述べられるか。</p>	<p>・教科書に記載されている「調べ学習」を自らの課題とし、調査・分析・判断する力がある。</p>	<p>・発問等に対し指名すると応答する。</p> <p>・事例について、ヒントを与えると考える姿勢を見せる。</p>	<p>・発問等をして「わかりません」と言うのみで考えようとする。</p> <p>・ヒントを与えても考える姿勢を見せない。</p>
<p>【表現・技能】</p> <p>・経済社会の動向への考察やサービス経済社会に適切に対応する基礎的・基本的な技術を身に付け、活用することができるか。</p> <p>・経済社会の動向への考察やサービス経済社会への適切な対応について合理的に計画し、その技術を適切に活用しているか。</p>	<p>・毎日の新聞記事の内容が理解でき、経済との関係を結び付けることができるか。要約と自分の考えを書く・発言する。</p>	<p>・新聞記事の内容について自分の考えを相手に伝えられる力を身に付けている。</p> <p>・最新の経済動向を的確にとらえている。</p>	<p>・新聞記事の内容を解説しながら展開すると理解できる。</p> <p>・自分の考えを論理的に伝えられない。</p>	<p>・新聞記事の内容は理解できない。解説をしても理解できない部分が多い。</p> <p>・抽象的から具体的にすることができない。</p>
<p>【知識・理解】</p> <p>・経済や企業経営に関する基礎的・基本的な知識を身に付けているか</p> <p>・サービス経済社会に適切に対応することの重要性について理解しているか。</p>	<p>・日常生活を営む上で経済活動の動向を理解することの必要性を認識しているか。常に経済動向に興味・関心を持ち続けているか。</p>	<p>・教科書に記載されている事例などが理解されている。</p> <p>・教科書に記載されている内容が理解できる力を身に付けている。</p>	<p>・教科書に記載されている事例などは最初に解説が必要である。</p>	<p>・教科書に記載されている内容が理解できない。解説をしても理解するのに時間がかかる。</p>

※具体的な評価方法等

- 「関心・意欲・態度」として、授業の取り組みの姿勢を重視する。具体的にはノート提出等を含めた提出物の提出期限を守る。そして、ノートの取り方等を総合的に判断する。
- 「知識・理解」として定期考査を中心に小テストなど従来のペーパーテストの素点で判断する。
- 「表現・技能」は授業中の発言を重視し、質問を理解し、正確に答えられるかを見る。

都立葛飾商業高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科	商業	科目	プログラミング（総合選択B）	学年	3	単位	2
教科書(出版社)	最新プログラミングオブジェクト指向型言語（実教出版）						
副教材等(出版社)	高校生のための Java 入門【情報処理検定】2級（インフォテック・サーブ） 全商情報処理検定模擬試験問題集プログラミング2級（実教出版）						

1. 学習の目標

プログラミングに関する知識と技術を習得させ、プログラムの役割や重要性について理解させる。
ビジネスの諸活動においてコンピュータを合理的に活用する能力と態度を育てる。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1	1. コンピュータとプログラム (1) ビジネスと情報処理 2. プログラミングの基礎 (1) プログラミングの手順 (2) データの入出力と演算 (3) 条件判定と繰り返し処理 (4) オブジェクト指向の考え方 3. アルゴリズムの表現技法	<ul style="list-style-type: none"> 統合開発環境 Eclipse の基本操作に関する技術を身に付ける プログラムに関する基礎的な知識を習得する プログラミングの基礎を身に付ける 流れ図に関する基本的な手順を理解する トレース表を作成するための知識を習得する 	24
2	4. プログラミングの応用 (1) メソッドの利用 (2) 配列の利用 (3) 例外処理とストリーム 5. Java の活用 (1) ユーザーインターフェイス (2) 文字や画像などの処理	<ul style="list-style-type: none"> Eclipse を活用するための知識や技術を身に付ける メソッド利用の意義について理解させるとともに、関数を利用するための技法を身につける 配列利用の意義について理解させるとともに、配列の有用性について考察を深める GUI について、その特徴を理解する 文字・画像・動画・音声の技法を身につける 	30
3	6. Java の活用 (1) Java プログラムを活用した作品制作	<ul style="list-style-type: none"> 学習した Java プログラムを活用して、実習を兼ねた作品制作を行う 	8

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
【関心・意欲・態度】 プログラムに関する分野に関心を持ち、プログラミングの必要性や利便性について考えることができる	授業での様子 定期試験	自ら問題を発見し、その解決に向けて進んで取り組みことができる。また、その内容をさらに応用することができる	与えられた問題に取り組むことができる。	与えられた問題に取り組む姿勢がない。
【思考・判断】 流れ図やトレーサ表から実行結果を導くことができたり、実行結果を導くために流れ図を作成したりすることができる	授業での様子 定期試験	計画に即して確実に実行結果を導くことができる	アドバイスを受けながら実行結果を導くことができる	実行結果を導くことができない
【表現・技能】 Eclipse を活用して、プログラムを作成することができる Java を活用した作品制作ができる	授業での様子 定期試験	プログラミングソフトを積極的に活用でき、基本的なプログラムを作成することができる。さらにそのプログラムを応用できる	プログラミングソフトを活用でき、基本的なプログラムを作成することができる	プログラミングソフトを活用できず、基本的なプログラムを作成することができない
【知識・理解】 プログラミングに関する基礎的・基本的な知識と技術を身につけ、意義や役割について理解している	授業での様子 定期試験	プログラミングに関する基礎的・基本的な知識と技術をしっかり身につけ、意義や役割についてきちんと理解している	プログラミングに関する基礎的・基本的な知識と技術のある程度身につけ、意義や役割について理解している	プログラミングに関する基礎的・基本的な知識と技術を身につけておらず、意義や役割について理解していない

※具体的な評価方法等

以下の基準により総合的に判断する。

- ① 4 : 6 = (授業状況・出欠・提出物) : (実技試験・筆記試験) の割合で評価する
- ② Eclipse を活用する技術が身に付いているか【実技試験】
- ③ プログラミングに関する知識を習得しているか【筆記試験】

都立葛飾商業高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科	商業	科目	ビジネスマナー応用 (総合選択B)	学年	3	単位	2
教科書(出版社)							
副教材等(出版社)		『秘書検定2級パーフェクトマスター』早稲田教育出版					

1. 学習の目標

ビジネスに関する基礎的な知識と技術を習得させ、経済社会の一員としての望ましい心構えを身につけさせるとともに、ビジネスの諸活動に適切に対応する能力と態度を育てる。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1	1、必要とされる資質 ・秘書の心構え ・秘書に必要な条件 2、職務知識 ・秘書の役割と機能 ・秘書の職務 3、一般知識 ・企業と経営 ・企業の活動 ・社会常識 1 1	<ul style="list-style-type: none"> ・職業人としての自覚と心構え ・上司の補佐役としての秘書 ・秘書人求められる能力 ・秘書の分類と組織の中の秘書 ・上司の機能と秘書の機能 ・秘書の職務における心構え ・定型業務、非定型業務 ・効率的な仕事の進め方 ・資本と経営、企業、人事、会計、マーケティング、会社に関する法等 ・基礎用語、略語等 	24
2	4、マナー・接遇 ・人間関係と話し方・聞き方 ・話し方・聞き方の応用 ・電話対応と接遇 ・交際 5、技能 ・会議と秘書 ・ビジネス文書 ・資料管理等	<ul style="list-style-type: none"> ・人間関係の重要性 ・話し方の基本知識 ・敬語の用法等 ・報告の仕方 ・説明・説得・注意・忠告の仕方、受け方 ・苦情処理 ・電話対応の基本と実際 ・慶事・弔辞の対応 ・会議の知識 ・社内文書の知識 ・適切な郵送方法の知識 ・メモ、グラフ等の書き方 ・資料管理の方法等 	36
3	※検定問題練習『秘書検定2級』	※秘書検定2級問題練習	8

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
【関心・意欲・態度】 授業への取り組み姿勢、問題練習等に取り組む態度	教材等の準備や事例・演習問題等に取り組む	ビジネスマナーの習得を目指し、意欲的に学習に取り組んでいる。	ビジネスマナーの習得を目指し、学習に取り組んでいる。	ビジネスマナーの習得を目指し、学習に取り組んでいない。
【思考・判断】 目標達成へ向けて計画的かつ円滑に学習を進められるか	中級程度のビジネスマナーの考え方が理解できるか	ビジネスマナーの問題を択一問題で正答を選ぶことができるだけではなく、理解し説明できる。	ビジネスマナーの問題を択一問題で正答を選ぶことができる。	ビジネスマナーの問題を択一問題で正答を選ぶことができない場合が多い。
【表現・技能】 ビジネスマナーの知識・技術が適切に運用、表現できるか 授業中の発問等に適切な応答ができるか	記述問題を的確な表現で解答することができるか。授業中の発問に適切な応答ができるか。	記述問題を的確な表現で解答することがほぼできる。授業中の発問に適切な応答ができる。	記述問題を的確な表現で解答することが半分以上できる。授業中の発問に自分なりの表現で応答ができる。	記述問題を解答することができない。授業中の発問に適切な応答ができない。
【知識・理解】 ビジネスマナーの適切な知識が身についているか (期末考査等)	考査・検定試験対策問題の得点	理論問題、実技問題の正答率80%以上	理論問題、実技問題の正答率60%以上	理論問題、実技問題の正答率40%以下

※具体的な評価方法等

- (1) 7 : 3 = (授業状況・出欠・課題提出状況等) : (期末考査) の割合で評価する
- (2) 課題について、提出期日内に指示された通りの内容で提出・発表できているか。
- (3) 検定に関しては参考程度の範囲での加点対象とはするが、減点対象とはしない。
- (4) 授業中の発問等に積極的に参加することができたか。

都立葛飾商業高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科	商業	科目	ビジネスデザイン I (総合選択B)	学年	3	単位	2
教科書(出版社)							
副教材等(出版社)		これからはじめる illustrator & Photoshop の本 (技術評論社)					

1. 学習の目標

広告に関する知識と技術を習得させ、企業と消費者間のコミュニケーション活動の意義や役割について理解させるとともに、ビジネスの諸活動を主体的、創造的に行う能力と態度を育てる。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1	Illustrator の基礎練習	<ul style="list-style-type: none"> ・ Illustrator の基本操作を学習する ⇒テキストに沿いながら、オブジェクト・テキスト・カラーリング等について学ぶ。 ・ ペンツールを使用したイラスト作成の基礎を学ぶ。 ⇒企業のロゴ等を題材に、ペンツールを使用しトレースする。 ・ 今後の学習に活かす為、手書きでキャラクターデザインまたはロゴデザインを描く。 ⇒描いたデザインを元にペンツール等を使いトレースを行い、デザインとして完成させる。 	24
2	Photoshop の基礎練習 課題制作 1	<ul style="list-style-type: none"> ・ Photoshop の基本操作を学習する ⇒画像の加工・合成等について学ぶ。 ・ 各種選択方法を駆使した加工方法を学ぶ。 ⇒店舗ポスターを題材に、画像の選択・加工・合成等について実践的に学ぶ。 ・ 広告の目的について理解する。 ・ 広告計画の立案と実施の流れや広告に関する規制及び広告活動に求められる倫理について理解する。 ・ クライアントからの要望に対して、自らデザインコンセプトを設定する。 ・ 設定したコンセプトに基づき、ポスターを制作する。 	30
3	課題制作 2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 制作した作品についてポートフォリオを作成し総括する。 	8

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
【関心・意欲・態度】 デザインに関する分野に関心があり、課題に取り組んでいる。	課題 作品	デザインに関する分野に強い関心があり、積極的に課題に取り組んでいる。	デザインに関する分野に関心があり、課題に取り組んでいる。	デザインに関する分野に関心が見られず、課題に取り組む姿勢が不十分である。
【思考・判断】 完成度の高いものを効率よく作成する手順を考察し、課題及び作品の製作をおこなっている。 クライアントの要望にどのように応えていけばよいのかを考えて、作品およびポートフォリオの制作をおこなっている。	課題 作品 ポートフォリオ	完成度の高いものを効率よく作成する手順を考察することが十分できている。 クライアントの要望にどのように応えていけばよいのかを十分に考え、作品およびポートフォリオの制作をおこなっている。	完成度の高いものを効率よく作成する手順を考察することが概ねできている。 クライアントの要望にどのように応えていけばよいのかを考え、作品およびポートフォリオの制作をおこなっている。	完成度の高いものを効率よく作成する手順を考察することができない。 クライアントの要望にどのように応えていられない。または、作品およびポートフォリオの制作を怠っている。
【表現・技能】 Illustrator や Photoshop を活用して、課題を制作することができる。	課題 作品	Illustrator または、Photoshop を活用して、課題を制作することが十分できている。	Illustrator または、Photoshop を活用して、課題を制作することが概ねできている。	Illustrator または、Photoshop を活用して、課題を制作が不十分である。
【知識・理解】 作品制作やポートフォリオ作成に必要な知識を習得している。	課題 作品 ポートフォリオ	作品制作やポートフォリオ作成に必要な知識を十分に習得している。	作品制作やポートフォリオ作成に必要な知識を概ね習得している。	作品制作やポートフォリオ作成に必要な知識を習得が不十分である。

※具体的な評価方法等

・提出物・作品・ポートフォリオ（60%）・取り組み状況・出席（40%）等を総合的に判断し評価する。